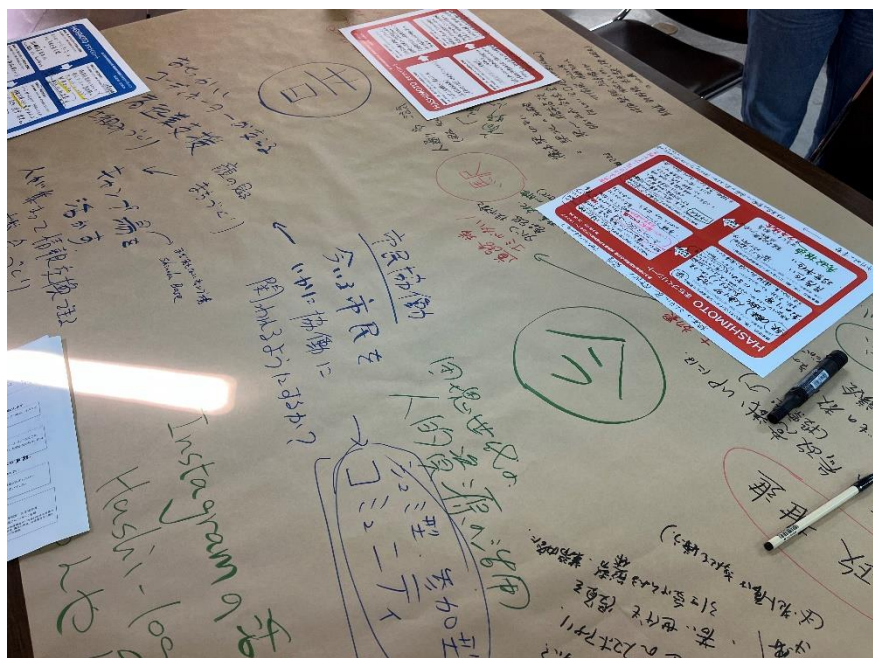


第2次橋本市長期総合計画 後期基本計画策定にかかるワークショップ

第2回 はしもとの未来を考えるワークショップ°

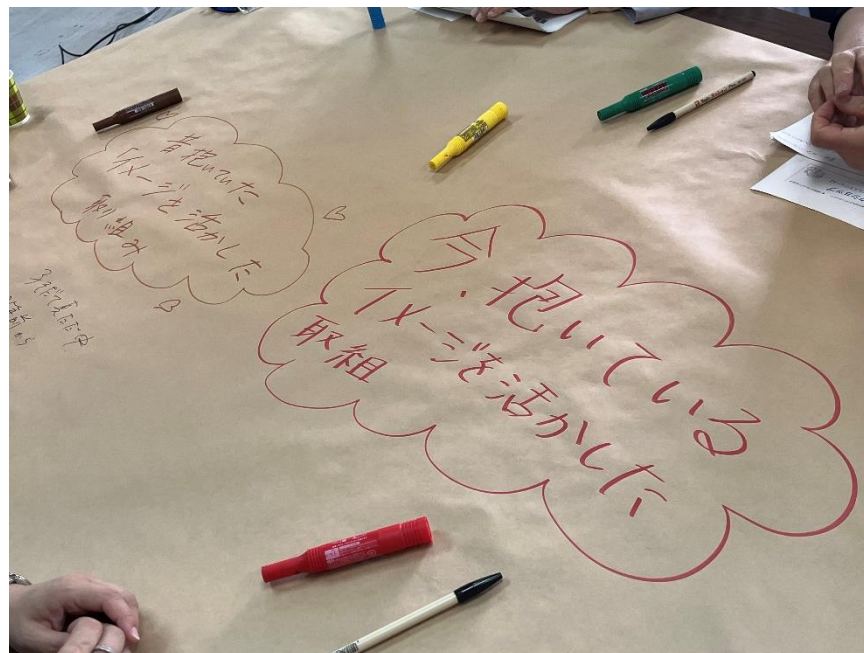


令和4年6月26日 ワークショップ まとめ



目 次

1. ワークショップの概要	1
2. ワークショップの手法	2
3. ワークショップの内容	4



1. ワークショップの概要

(1) ワークショップの目的

橋本市では、「第2次橋本市長期総合計画 後期基本計画」の策定にあたって、多くの方々の意見を把握し、計画に反映させるため、「ワールド・カフェ」方式による語り合いを中心としたワークショップを実施しました。

(2) ワークショップのテーマ

橋本市が今よりも
もっと良いまちになるために
すべきこと、できること



(3) ワークショップのプロセス

今回のワークショップは、明確に検討内容を設定して開催しました。
実施については、「語り合い」を中心とした「ワールド・カフェ方式」と呼ばれる手法を用いました。



2. ワークショップの手法

(1) ワークショップとは

ワークショップとは、先生や講師から一方的に話を聞くのではなく、参加者が主体的に論議に参加したり、言葉だけでなくからだや場所を使って体験したり、相互に刺激し合い学び合う、グループによる学びと創造の方法です。

今回は「ワールド・カフェ方式」という手法で実施しました。

(2) 「ワールド・カフェ」とは

「知識や知恵は、管理されがちな会議室で生まれるのではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる“カフェのような空間”でこそ創発される」という考え方に基づいた、話し合いの方法の一種です。

(3) 特徴

- ・ アイデア出しをする際に効果的な手法です。
- ・ 年齢や職業にとらわれない参加者同士の自由な対話を行えます。
- ・ 本物のカフェのようにリラックスした雰囲気の中で、テーマに集中した対話が可能です。
- ・ 自分の意見を否定されず、尊重されるという安全な場で、相手の意見を聞き、つながりを意識しながら自分の意見を伝えることにより生まれる「場の一体感」を味わえます。



(4)まとめシート

語り合った意見はまとめシートに記入していただき、みんなで共有しました。

まとめシートには、橋本市に抱いている、昔のイメージと今のイメージを一人ひとりが思いつくままに、自由に意見を書いていただきました。

HASHIMOTO まちづくりシート

第2次橋本市長期総合計画 後期基本計画策定にかかるワークショップ

第2回 WS 22.06.26

橋本市の「昔、抱いていたイメージを活かした取組」

(文章、箇条書き、イラスト、図解…何でも自由にご記入ください)



市民として「何ができるか」

(文章、箇条書き、イラスト、図解…何でも自由にご記入ください)

橋本市の「今、抱いているイメージを活かした取組」

(文章、箇条書き、イラスト、図解…何でも自由にご記入ください)



市民として「何ができるか」

(文章、箇条書き、イラスト、図解…何でも自由にご記入ください)

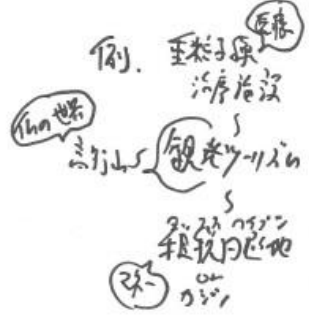
3. ワークショップの内容

■“まちづくりシート”の内容

No.	橋本市の「昔、抱いていたイメージを活かした取組」	市民として「何ができるか」	橋本市の「今、抱いているイメージを活かした取組」	市民として「何ができるか」
1	おせっかいコーディネーターが支える若者起業支援 ↓ 橋本駅前活性化 オシャレな雑貨屋、カフェ、Bar があるまち	・橋本駅前周辺をひとつの現代アートの美術館に <u>アーティスト・イン・レジデンス</u> 人が集まる仕掛け ・駅前マルシェ 集客ができると ▶ 雑貨屋、カフェ、Bar 起業 橋本でイケてる人たちを集める	テーマ型（趣味や関心など）コミュニティづくり ＋ 地縁コミュニティ（自治会）の連携	人と人がつながり、やりたいことの情報交換できる場があれば、イベント企画・運営・集客など 小学校区単位 まだ名もないキャンプ場 Shinoda Base など
2	自治会組織が確立していた（高度経済成長期） 源泉徴収（大） 地域力（パワーがあった）	自治会組織を中核にしたコミュニティ組織に改変する（行政も参画した協議会方針に改変する） （村落型自治会→都市型自治会へ） はぐくむ条例の双方理解を深める（市の憲法）	小規模多機能自治の実現化（周知） 「元気なまちづくり」の活動拠点は小学校である （小学校区、学校運営協議会の活動をWin Winで行う） 「山紫水明」観光資源を活かした事業推進 高野街道の結節点（玄関口）	団塊世代の皆さんは“オフィシャル組織”を敬遠する ボランティア精神は大いにある 自分の得意とする分野への“コミュニティ組織”を構築した“市民協働”を定着する 「三世代交流事業」 Ex: 親子 de○○行事 NPO 等市民協働型推進（駅前の観光案内所も民間団体に運営する）

No.	橋本市の「昔、抱いていたイメージを活かした取組」	市民として「何ができるか」	橋本市の「今、抱いているイメージを活かした取組」	市民として「何ができるか」
3	・駅(橋本)人通り多 活気 顔 (現在死んでる!) 娘の言葉 再開発やらないのではなくやれる道筋を考えるべき。それが政治 ・紀の川祭のにぎわい (祭りだけでなくマルシェイベント等) 高野。学文路サマーフェスティバル イミなし 交通アクセスが良い橋本駅 紀の川河原で開催すべし 市はどう対策するの? 欄外 橋本はこんなに良い街だ! 発信、アピールするには?	市民として「何ができるか」の前に提案をどう実現してくれるのか回答ありきかと 駅北 ・思いきって公園化 いかに開発、ステキにするか マルシェ族誘致 橋高にかけての斜面 空き家、空き地多(市民 集う場) 大阪から集客&若者の住み残り(転出しない) 若い子はマルシェ・アート好き 彩の台のような公園 └アクセス悪すぎる ・店舗ストリート おしゃれな Shop、飲食店 最悪マンションでも。人通りを作る	・民度低い 道路端ゴミ(タバコ、食品包装) 投げ捨て多い ・投票率低い 若者参政意識 投票率UPには 参政推進 ☆子どもの教育 ☆少年議会 市はどう実現するの? 少年議会のボランティアスタッフとしか答えられない 少年議会 気の遠い根気のいる事業だが成果確実。モデル自治体有(NHK 紹介) 8割近い投票率実現と ・小学生から時事問題等~地域世界まで情報、知識、話し合う 政治に関心→投票率UPに ※結果的に民度上がり、住みやすい住みたい街に 欄外 市行政の姿勢→計画策定から実現への道筋が全くみえない(形だけのワークショップにならないか?)	
4	いろいろな知識・資格持つ <u>リタイヤ男性・マンパワー</u>あるが ⇒高齢人口多い 何かしたい、やる気あってもどうすればいいかわからない 小さなグループ カラオケ 山歩き 写真 グループはある これらのグループをつなぐ方法があれば	空き農家└農業したい人 マッチングアプリ 資金援助 生活支える施策あれば	駅前、空き店舗 =<u>ミリオク的なカフェ、ギャラリー</u> <u>宿泊施設</u> 高野山へのアクセスよい	<u>キッチンカー</u>づくり ↓ <u>キッチンカーがイベント</u> 若者事業はじまっている 貸出できる、集まれる キッチンカー

No.	橋本市の「昔、抱いていたイメージを活かした取組」	市民として「何ができるか」	橋本市の「今、抱いているイメージを活かした取組」	市民として「何ができるか」
5	昔、人とのつながり濃密 人とのつながり 大切	市民の声を自由に言える 今回のような機会はゼッタイ必要だと思います	子育て世代がほっと気をぬける場 ↑ 必要 子育てしやすい町づくり 保育園 整ってきている ハード メンタル 子育ての思い共有できる	
6	・ 紀の川祭り→花火 ・ 秋祭り（だんじり） ・ 人々のつながり多かった ・ 田園都市発展する予定 地域の 人々の 集まり	・ 積極的に参加する雰囲気づくり ・ お金の確保（補助金） ・ イベント ・ 橋本市が田園都市としての全市民自覚の確立（コミュニケーション） ・ 在宅勤務の為の支援	・ 人口減→悪い事としてとらえず ・ アピール不足 ・ 高齢者→ 豊かな生活空間の確保 移動手段	橋本らしさ→全国へアピール ユ－チューブ 自由な行動を確保する ・ 徒歩→歩道の整備（車いすでも移動可能） ・ 交通手段の確保
7	商業エリア・産業エリアなど明確に していく 活気と住み易さ	地消	若者だけでなく、高齢者の生きがいづくり、体力づくり、つながりづくり	それぞれが少しずつの「おせっかい」をしていく
8	祭り（新しい形）の実施 つながりの復活	地域をあげて皆で作るお祭り	子ども3人いたら高校まで無償	ロコミ活用
9	農業等を活かした地域運営→消費者や地区外の人々の交流を構築 商店街をシャッター街からシャッター上る商店街に売りを考える	・ 農業を活かしたつながりを見つける ・ 徹底した支援 これを決めたものに ・ 地産地消拠点を軸につながり ・ 他にない商店街づくり	いろんな良いところをもっとクローズアップ バラバラの橋本市で、逆にバラバラを活かしたものみつける 地域外から橋本に來られた人の智恵を活かす 大きな発展を	・ 地域の資源をもっとアピール ・ 観光、環境（すみやすさ）自然を軸に橋本市、地方で支援（ex: 共有の方策構築） ・ 人口の維持する取組を強化

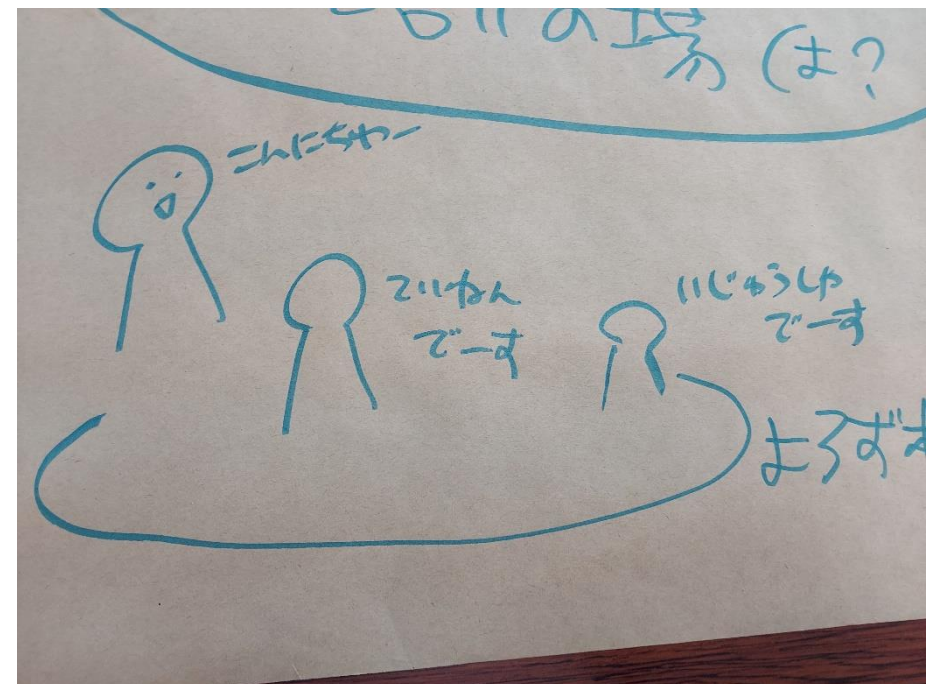
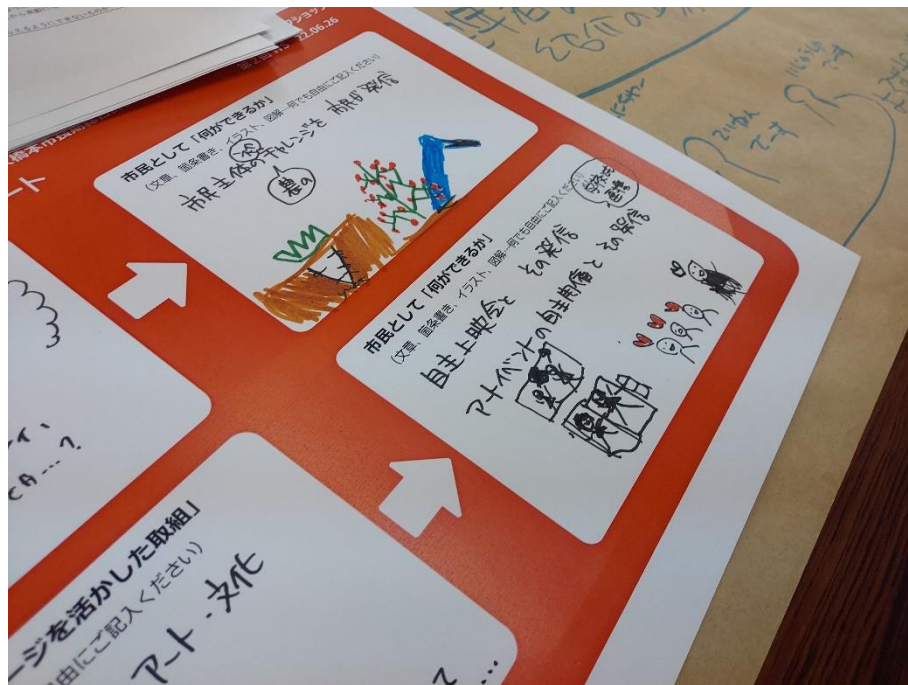
No.	橋本市の「昔、抱いていたイメージを活かした取組」	市民として「何ができるか」	橋本市の「今、抱いているイメージを活かした取組」	市民として「何ができるか」
10	紀の川で泳いでトレーニングしたという金メダリスト 数学博士／大リーグ選手 パイル織物での大量雇用 or 大量雇用が必要な仕事をつくる	署名活動 アイデア出し 得意分野での協力 仕事上の協力 ○紀の川を遊泳できるようにする ○数学オリンピックの誘致 ○地域雇用への優遇	交通上の交差点（通過点） ↓ ゴールにする （目的地） 	同左 オンリーワン or ナンバーワン 要素のある何かを誘致／設立 
11	各々が考えている悩みや問題をまとめ上げる	政策提言の作成と提出	人力にたよりすぎる →シンプルにムダをなくす 記憶に頼りすぎる →記録 見える化	コミュニティの維持 ＋ ネットワークの拡大
12	近所付き合いが温かかった。 信頼度が高い！！ 〃 厚かったです。	若い人たちのパワー 意見や刺激を貰っているので、今昔物語が継続できると良いなあー！	紀ノ光台とかあやの台とかに大企業さんの誘致が進みつつ有るが、あと一頑張りして、起業を増やし地元従業員さん、職員さんの雇用を促進して欲しい	・ボランティア活動かな？ ・市民ワークショップが単発にならない様に取り組める会が有れば、又参加したいです。

No.	橋本市の「昔、抱いていたイメージを活かした取組」	市民として「何ができるか」	橋本市の「今、抱いているイメージを活かした取組」	市民として「何ができるか」
13	・ 地域に若い世代のコーディネーター役の人をおく ・ 自給自足を目指していく	・ 地域の活動に参加する ・ 畑仕事をする SNS で発信する	学校教育のおかげで<u>郷土愛</u>は育っています。<u>だから、子どもや若者は橋本市を愛している人がとても多い</u>です。しかし、雇用がないので、なかなか大学に外に出て戻ってくる事ができません。雇用をうむ事は勿論ですが、若者は若者なりに自分で<u>起業</u>し、自分で<u>稼ごうとする人も</u>多いです。<u>その若者たちを応援する仕組み作り</u>。 地域で応援する！！仕組み。地域から応援されれば地域にも貢献する気になるのでは。	・ 若者が頑張っていたら応援する ・ SNS で発信させてもらう ・ 地域活動に参加する ・ 第2層、はぐくむ委員 ・ 議会（市制）に興味をもつ 議会の傍聴するなど…。
14	おせっかいやき	よろず相談役	橋本市：J A 官民共創	意見を言う（具体的に）
15	農がさかん { 耕作放棄地を復元したいという情報の集約と発信 } ↑ 自給自足、農福連携、農コミュニティ、子どもの農体験で売り出しとか…？	市民主体の農の初チャレンジを市民が発信 	映画館や美術館などのアート・文化施設がないので 自主イベントを開催！ ↑ 市には会場費とか補助してほしい…	自主上映会と その発信 アートイベントの自主開催と その発信 学校とも連携 
欄外 「お客さん」姿勢の人が多いため「関わりしろ」をもっと作って 市民主体の姿勢を育てる…				

No.	橋本市の「昔、抱いていたイメージを活かした取組」	市民として「何ができるか」	橋本市の「今、抱いているイメージを活かした取組」	市民として「何ができるか」
16	・人とのつながり…色々と取組はしているが ・若い人をもっと参加させるべき ・もっと気軽に相談できる場所（人材も置くだけでなく人柄も大切）	・サークル他集まりのお手伝い	・市民も役所ももっと積極的に！！ ・市の良さを色々な意見を聞いて具体的に実行していく。そして発信する	・人に伝える ・参加する
17	都会に近い田舎 移住するには最高の場所と思っていた…のに	実際に暮らしてみた人からのアプローチ 思っていたのと違う！！部分をクリアに 移住するまでにワンクッションを！ ex:週末農業 祭り体験（練習会から）	高齢者が元気！！ ボランティア精神にあふれている ／ 今まで私が暮らした街で1番だと思っています！	ボランティアしたい人をまとめる コーディネータ役が必要かと思う 個々のパワーを上手につかえるシステムが必要 こんなワークショップを頻繁に行ってほしいです！すごく楽しかったです。ありがとうございました！
18	・まつり（だんじり）や夏祭りを活かす	・発信力を高める ・SNSを使う（アピール） ・地域での人の支えあい	・防災・災害に強い地域 ・子育てしやすいまち	・人とのつながりをもつ ・アピールするチカラ ・マンパワーをもっと！ ・世代間交流
19	♪便利な田舎まち♪をもっと今風に	住みやすいまち 子育て支援手厚いまち を発信する（今以上に）	防災だけでなく災害に強いまちづくり。マンパワー（人口）が減少する中でもやれることで力強いまちをめざす →	安心安全の充実のためにリタイアした人の知識を利用させてほしい（知恵の継承も） 日頃の人づきあいが大切
20	紀の川祭りが盛んで 活力のあった市（町）	やはり旧来の祭りの形態を守ること も重要（隅田八幡の無形文化財の「だんじり祭り」の維持）なものとして、参加、支援してゆくこと。	「紀の川祭り」もその後の「サマーボール」も結局は資金の面での行き詰まりで消滅	祭りのもつ、人を元気づける面 「年一度の祭りがあるので少々苦しい仕事も頑張れる」という一面を個人もしくは少数単位でも形成してゆく。

No.	橋本市の「昔、抱いていたイメージを活かした取組」	市民として「何ができるか」	橋本市の「今、抱いているイメージを活かした取組」	市民として「何ができるか」
21	大胆な子育て支援 子育て世代の移住と 子どもの声が聞こえる街の再生	口コミ、SNS でアピール協力 はしもと「子育ていいね！」大作戦 →市民の発信力活用 「橋本なら学費は高校まで無償、おむつは無料」とか発信役をする	農業スタートキットのプログラム化 現農業の技術・ノウハウを移住者へ伝えるプログラム 住居・資金・家計の長期支援	ボランティアとして農業従事者が蓄積したノウハウを伝える。 スタートキットを SNS でアピールを手伝う。
	若者だけではなく 高齢者の移住促進と支援。高齢者の住み甲斐の創出 ↓ 放課後、地域の子どもとの交流。学童支援 地域のつながりを創り出す 高齢者と子どものつながり＝子育て世代とのつながり			
22	・おせっかいコーディネーターの若者起業支援（雇用を自分でつくって いっている若者を支援する）	地域で「これはじめてみようと思 ってる！！」という人を応援するしく みがあれば…！ （宣伝、手伝い（リアルな人手）、金 銭面）		
23	・橋本でできるお祭り 地域や人とのつながりを強める		・農業のノウハウを伝える（みんな 知っている状態にする） （自然農、有機農業） 橋本の土地、自然をピュアにしてい く。それを求める人を増やして移住 する人を増やす。	・循環を考える ・みんな家庭菜園してみる（自給自 足）

No.	橋本市の「昔、抱いていたイメージ を活かした取組」	市民として「何ができるか」	橋本市の「今、抱いているイメージ を活かした取組」	市民として「何ができるか」
23	※市議会・市職員と若者・子どもたちが話せる場をもうける ※若い人がもっと政治に参加できるように定年をもうける、とか？ ※こども議会の意見を取り入れる、とか？			



第2次橋本市長期総合計画
後期基本計画策定にかかるワークショップ
第2回 はしもとの未来を考えるワークショップ

発行年月：令和4年6月

橋本市 総合政策部 政策企画課

〒648-8585 和歌山県橋本市東家一丁目1番1号

TEL：0736-33-1111

FAX：0736-33-1665